

OMRC mail magazine

温泉医科学研究所 HP <http://www.onsen-msrc.com/>

-----

メールマガジン編集担当の主任研究員:後藤康彰です。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

このメールは、温泉医科学研究所のメールマガジン登録をいただいた方、  
温泉入浴指導員、温泉利用指導者講習会にご参画いただいた方、アンケート、  
名刺交換をいただいた皆様にお送りしております。

<目次>

1. 理事長挨拶

一般財団法人日本健康開発財団 理事長 栗原茂夫

2. 【研究情報】湯船に浸かることが長寿遺伝子発現に作用？

3. 【お知らせ】第5回(平成24年度)温泉入浴指導員養成講習会

温泉利用指導者・温泉入浴指導員研修・交流会募集中

(日本健康開発財団)

4. 【コラム】これぞ裸の付き合い 一会話もはずむシュワシュワ炭酸泉

(七里田温泉:竹田市)

=====

1. 理事長挨拶

一般財団法人日本健康開発財団理事長 栗原茂夫

=====

皆さまあけましておめでとうございます。

日頃から私ども日本健康開発財団 温泉医科学研究所へのご指導、ご協力ならびに  
当メルマガをお読みいただき、ありがとうございます。

昨年4月1日に開設いたしました「温泉医科学研究所」も、皆さまのお力添えで、  
産学官の多様な皆さまと連携して、活動の幅を広げつつあります。

本年も、医科学的研究を通じて、日本固有の「温泉・入浴文化」の普及に研究所員一同、邁進する所存でございますので、引き続きご支援、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

=====

## 2.【研究情報】 湯船に浸かることが長寿遺伝子発現に作用？

=====

当研究所では、自主研究で「入浴方法が心身に与える影響」を実施しています。

2011 年度には、「湯船に浸かる入浴」、「シャワーだけの入浴」をそれぞれ 2 週間実施してもらい、主観評価の検討をしましたが、2012 年度には、生理指標の変動を調べています。

その中で、遺伝子発現を網羅的に調べる解析を行いました。  
まだまだデータを眺めている段階ですが、「湯船 2 週間群」で、仮説として考えていた長寿関連遺伝子の発現に変動……を示唆するデータも散見。  
論文にするのが楽しみです。  
ご期待ください。

(後藤康彰)

=====

## 3.【お知らせ】 第 5 回(平成 24 年度)温泉入浴指導員養成講習会 温泉利用指導者・温泉入浴指導員研修・交流会募集中 (日本健康開発財団)

=====

本講習内容は、厚労省の「温泉利用プログラムを安全かつ適切に指導する能力に係る講習実施要領」に準拠しており、これまで 4, 600 名が修了しています。

第 5 回講習会は 1 月 24 日(木)～25 日(金)に、BumB 東京スポーツ文化館(東京都江東区)にて開催を予定しておりますが、いよいよ締切間近です。

ご検討中の方は、お早めにお申し込みをお待ちしております。  
定員は 30 名で申し込み受け付けは、1 月 18 日(金)までとなっています。  
詳細は、ホームページをご覧ください。<http://www.jph-ri.or.jp/guide/individual.html>

また、2 月 21 日(木)には、はじめての  
「温泉利用指導者・温泉入浴指導員研修・交流会」  
を江の島アイランドスパ(神奈川県藤沢市)で開催を予定しています。  
こちらは定員 40 名、温泉旅館・ホテル関係者をはじめ、村山敏夫さん(新潟大学准教授)など  
おなじみの講師陣もご参加いただきますので、奮ってお申し込みください。

お申込みはこちら：  
<http://www.jph-ri.or.jp>

皆さま、会場でお会いしましょう。

(後藤康彰)

=====

4. 【コラム】これぞ裸の付き合い 一会話もはずむシュワシュワ炭酸泉  
(七里田温泉: 竹田市)

=====

「この炭酸泉に入っという方がいい・・・ところを教えてくださいませんか？」  
と。竹田市商工観光課の舞さんにうかがっておしえていただいたのが、大分県竹田市  
七里田温泉「ラムネの湯」。

久住高原・長湯温泉には仕事・プライベートをあわせて 10 回以上訪問してましたが。  
こちらは耳にしたのもはじめて(・・・恥ずかしい)。  
当研究所早坂所長とレンタカーでゴー。

長湯温泉からだと車で 15 分程度。  
「いっぱいなので、空いたらご案内しますね」  
と。待つこと 10 分。利用者用の鍵を借りて、ラムネ湯(下の湯)に向かいました。

脱衣場を覗くとそのまま湯船(畳3畳ほど)がまるみえ(炭酸ガスを逃がすため)。  
10 人程の先客が、ぎゅうぎゅうに湯船につかっていました。  
・・・あららら。これじゃはいれないよね

と、早坂所長と視線をかわすと。

「2人なら入れるよ」

と先客から声がかかる。

着衣を脱ぎ捨て、ぎゅうぎゅうの浴槽にそろり。

..またたく間に気泡が身体を覆う。なるほど。これはすごい。

湯温は37℃とぬるめ。

全員ほぼ密着状態の至近距離。なので、自然と会話が弾みます。

地元の常連さんも遠方からの一見さんもわけへだてなく笑顔がほころぶ。

これぞ裸の付き合い。

お近くに寄られたら是非。

七里田温泉館 HP:

<http://www006.upp.so-net.ne.jp/mario/konoha/index.htm>

(後藤康彰)

---

※このメールは、温泉医科学研究所のホームページでメルマガ配信登録をいただいた方、温泉利用指導者・温泉入浴指導員受講者で、メルマガ配信を希望された方、名刺交換をさせていただいた方、アンケートをされた方にお送りしております。

配信がご不要な方は、お手数ですが下記 URL にアクセスしていただき、「メルマガ解除」をお願い申し上げます。

解除 URL: <http://r34.smp.ne.jp/o/Pg/204668/9h4bJ1H7ci0D/out?stop=lg>

---

■発行: 温泉医科学研究所

<http://www.onsen-msrc.com/>

■編集: 主任研究員 後藤康彰

[mailto: ygoto@onsen-msrc.com](mailto:ygoto@onsen-msrc.com)

---

(c)Japan Health & Research Institute. All rights reserved